



平成 22 年 12 月 10 日

開発途上国船員養成事業「最後の乗船式」

12月15日、神戸港停泊中の独立行政法人航海訓練所の練習船「青雲丸」（船長：熊田公信、5,890トン）において、「開発途上国船員養成事業」に参加する研修生の乗船式を行います。（研修生内訳：インドネシアとバングラデシュから6名ずつ、計12名）

本事業は、海技資格の取得に必要な乗船訓練を受けることが難しい開発途上国の学生を研修生として我が国に招き、海技大学校における初期導入研修とそれに続く乗船訓練を行うことにより、開発途上国の船員を養成し、もって我が国海運の発展のみならず、船舶航行の安全等に資するもので、平成2年度から国際技術協力の一環として行われてきました。

航海訓練所は平成9年度からこの事業に参画し、これまでに4カ国（フィリピン、インドネシア、ベトナム及びバングラデシュ）から延べ658名（事業全体では1,222名）を日本人の学生が乗船している青雲丸に受け入れ、乗船基礎訓練を実施してきました。



日本人実習生と開発途上国船員養成事業研修生との交流

この度、事業の見直しが行われ、今年度が最後の研修生受入となります。研修生は、青雲丸において約3ヶ月の乗船基礎訓練を終えた後、邦船社が運航する商船において9ヶ月間の乗船実務訓練に取り組みます。

船舶職員を目指す日本の若者と開発途上国の若者との間で培われた絆が、今後の我が国海運を支えるネットワークとなり、さらには友好親善の礎となることを期待しています。

なお、本事業は、国土交通省及び（財）日本海事センターの補助事業として、（財）日本船員福利雇用促進センターが実施するものです。



昨年度の乗船式の様子（H21年12月）

■乗船式

日時：12月15日（水）14：00～（13：30乗船）

場所：神戸市中央区新港町 新港第3突堤 M岸壁に停泊中の青雲丸デッキ上

■練習船「青雲丸」の概要



船名：青雲丸（せいうんまる）

進水日：1997. 3. 4

総トン数：5,890トン

全長：116m

【配布先】国土交通記者会、国土交通省交通運輸記者会、神奈川県政記者クラブ、神戸海運記者クラブ

◆広報資料に関する問い合わせ先

独立行政法人航海訓練所 事務局企画研究課

担当：寺島、熊上

電話：045-211-7316